

# キリスト教教理入門

---

1. 神学をすること
  2. 神の啓示
  3. 神の性質
  4. 神のみわざ
  5. 人間
  6. 罪
  7. キリストの人格
  8. キリストのみわざ
  9. 聖霊
  10. 救い
  11. 教会
  12. 終末
-

## 第二部 神を知ること

### 「キリスト教神学」

- 8章 神の普遍的啓示
- 9章 神の特別啓示
- 10章 啓示の保存: 靈感
- 11章 神の言葉の信頼性: 無誤性
- 12章 神の言葉の力: 権威

### 『キリスト教教理入門』

- 3章 神の普遍的啓示
- 4章 神の特別啓示
- 5章 啓示の保存: 靈感
- 6章 神のことばの信頼性: 無誤性
- 7章 神のことばの力: 権威

# 第5章 啓示の保存：靈感

---

1. 靈感の定義
  2. 靈感の事実
  3. 灵感の諸理論
  4. 灵感の範囲
  5. 灵感の強度
  6. 灵感についてのひとつのモデル
-

# 第一節 靈感の定義

---

1. 聖霊の超自然的影響
  2. 口伝以上の何か
  3. 垂直的行為と水平的行為
-

## 第二節 靈感の事実—a

---

1. 循環論法なのか
  2. 循環論法との非難に答える
  3. 神によって吹き出された
-

## 第二節 靈感の事実ーb

---

1. 初期の教会の説教
  2. 「主は...と語られた」
  3. 主ご自身の見方
-

## 第三節 靈感の諸理論

---

1. 直観理論
  2. 照明理論
  3. ダイナミック理論
  4. 言語理論
  5. 口述理論
-

## 第四節 靈感の範囲

---

1. 靈感されているもの何か
  2. 第二テモテ3:16「聖書はすべて」
  3. 第二ペテロ1:19-21、ヨハネ10:34-35「律法と預言」
  4. 新約聖書もーペテロ、ヨハネ、パウロ
-



## 第五節 靈感の強度

---

1. 言葉の選択まで？
  2. 言葉、音節、句読点のしるし
  3. 説明の記述も一神に
  4. イエスの言及「...と書いてある」
-

## 第六節 靈感についてのモデルーa

---

1. 二つの基本的方法
  2. 第一義的に、教えのための資料
  3. 聖書著者の思想を導く
-

## 第六節 靈感についてのモデルーb

---

1. ケネス・パイクの倍率の次元
  2. 特性ー詳細・拡大の様々なレベル
-

## 第六節 靈感についてのモデルーc

---

1. 靈感は言葉の選択にまで
  2. 霊的生活を通しての備え
-

## 第六節 靈感についてのモデルーd

---

1. 「神の思い」を思う
2. 書物—派生的に靈感